

農業と地域の未来を拓くため、役職員一丸となって取り組んでいる当JAの自己改革の一部をご紹介します。

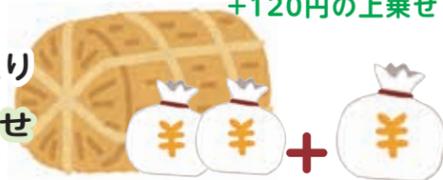
農業者の所得増大・生産拡大

農畜産部門 ● 米概算金の独自上乗せ

県経済連米概算金に加え、**独自の概算金上乗せ**を実施しています。
※2等米はさらに+120円の上乗せ

H30年産実績 1俵(60kg)あたり

600円上乗せ



園芸果樹部門 ● 瓜類奨励対策

部会ごとに様々な取り組みを実施しています。中でも主力農産物である春夏大玉スイカ作付面積、出荷量の維持・拡大に向けた奨励対策を園芸部会と協力し実施しています。

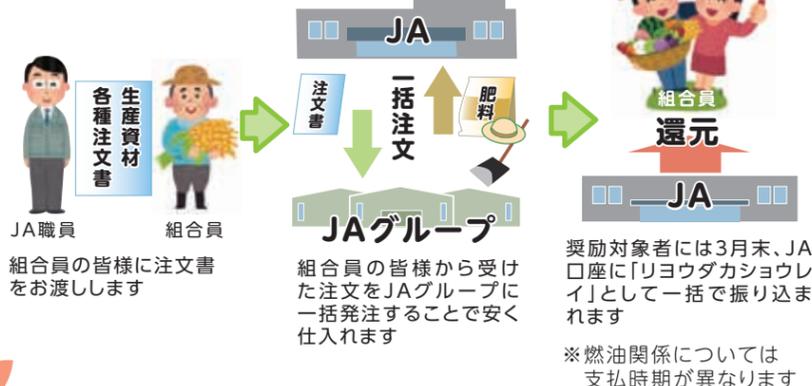
■春夏大玉西瓜出荷数量・単価推移表



購買部門 ● スケールメリットによる還元

生産資材、肥料、飼料、重油を購入する組合員・利用者に対して還元を行っており、組合員の所得向上の一助となっています。

※奨励対策は期間限定で行っている場合があります。



地域の活性化

企画部門 ● 担い手農業経営者の育成・支援

山鹿市鹿央町にある地域担い手育成センターで農業経営者の育成・支援を独自に行っています。研修生は1年間、圃場実習と座学を学びJA管内に就農。就農後の支援も行っています。



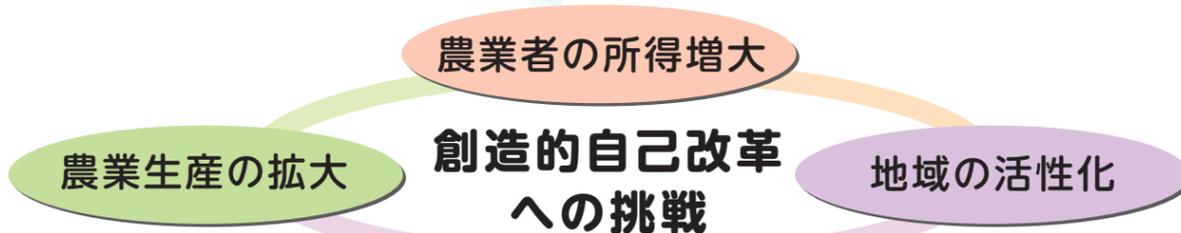
▲地域担い手育成センター

各地区 ● 愛され親しまれる店舗作り

支所・取次店ではCS活動(お客様満足度向上運動)の実施や地区だよりの作成、毎月第3土曜日に行われる「ふれあいデー」で地域住民とふれあいの機会を設ける等、様々な活動に取り組んでいます。



JA鹿本では「創造的自己改革への挑戦」をテーマに、3つの基本目標「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の達成に向けて取り組んでおります。



「あってよかった」から「なくてはならない」JAへ ～JA自己改革に関する組合員アンケート調査実施～

政府は、一部の農業者に対する政府独自のアンケート調査によってJAの評価を定め、農協へ改革を迫ろうとしています。2021年3月までのJA自己改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員の利用規制が行われる可能性があります。

こうした情勢のもと、正・准組合員の意思を的確に把握し、その意思の尊重を求めていく必要があります。そこでJAグループは、**2019年1月～3月の時期に全組合員を対象として“組合員アンケート”を実施**することといたしました。JA鹿本も、職員が皆様のお宅を訪問し実施させていただきます。

自己改革に対する皆様の評価が、最終的には「組合員の皆様にとってJAは必要か否か」を判断する材料ともなりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは次の4問です。

- ①JAは地域農業や暮らしにとって必要かどうか
- ②JAの利用度・期待度・満足度及び3年前との比較 (営農・購買事業)
- ③JAの自己改革についての認知度確認
- ④准組合員の事業利用について

質問は上記の4つとなりますが、付随していくつかの問いがあります。短時間でアンケートは終わりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



▲アンケート一例

JA鹿本は各事業を通じ、創造的自己改革の実現に向けて取り組みます! 次月号に続く▶▶▶